

# パートナー21

No.15  
2021

特集

# 防災・減災と

# ジェンダー平等

地域防災における  
ジェンダーの  
平等の視点の  
重要性

Part3  
P.5-6



Part4  
P.7-8



災害に備えよう



P.9

書籍の紹介・  
市長より

避難所って  
どんな  
ところ？

Part1  
P.1-2



避難所に  
必要な  
ポイント

Part2  
P.3-4



P.10

男女共同参画  
優秀作品紹介・  
施設の紹介



那珂川市

# ひとりで悩まず ご相談ください

DVとは、夫婦や恋人間で起きる一方的な暴力のことで、  
例えば次のようなことがあります。

身体的DV…殴る、蹴る等  
精神的DV…暴言、束縛、脅迫等  
経済的DV…生活費を渡さない、  
借金を強いる等

性的DV…性行為を強要する、  
避妊をしない等  
社会的DV…交友関係を制限して孤立させる等

## 相談窓口

### DV相談

※年末年始を除く

- ◆ちくし女性ホットライン・・・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-513-7335  
(月・水～金/12:00～19:00 土/10:00～17:00 ※祝日を除く)
- ◆配偶者暴力相談支援センター(筑紫)・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-584-0052  
(月～金/8:30～17:15 ※祝日を除く)
- ◆福岡県配偶者からの暴力相談電話・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-663-8724  
(月～金/17:00～24:00 土・日・祝/9:00～24:00)
- ◆男性DV被害者のための相談ホットライン・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-571-1462  
(水・木/17:00～20:00 金/12:00～16:00 ※祝日を除く)
- ◆LGBTの方のDV被害者相談ホットライン・・・・・・・・・・・・ ☎ 080-2701-5461  
(第2火曜日/12:00～16:00 第4火曜日/17:00～20:00 ※祝日を除く)

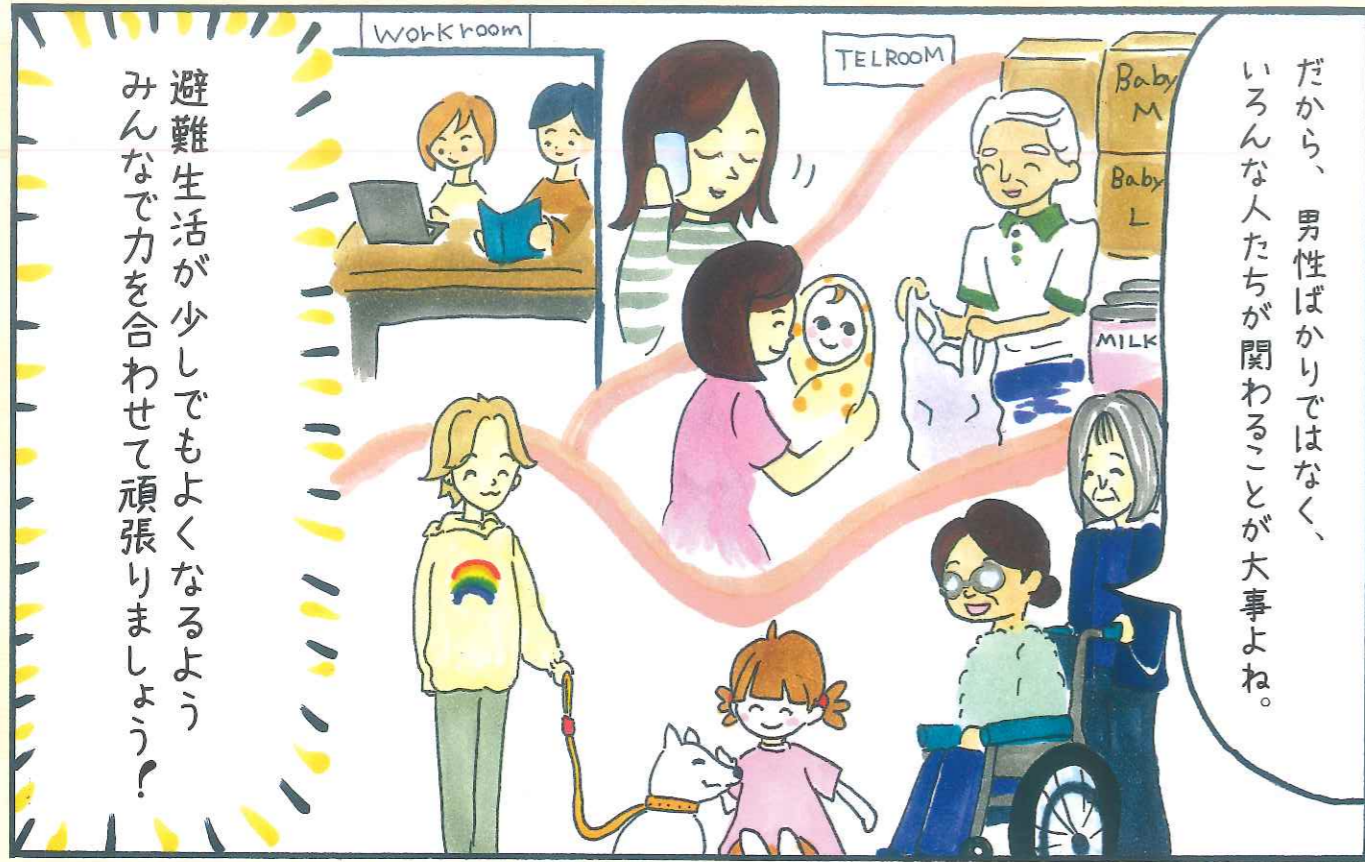
### 総合相談

※年末年始を除く

- ◆福岡県あすばる相談室—相談ホットライン—・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-584-1266  
(9:00～17:00 ※金(祝日除く)18:00～20:30も可 ※祝日、8月13日～15日を除く)
- ◆福岡県あすばる相談室—男性のための電話相談—・・・・・・ ☎ 092-584-4977  
(第1・3土曜日14:00～16:00 第2・4金曜日18:00～20:30 祝日を除く)

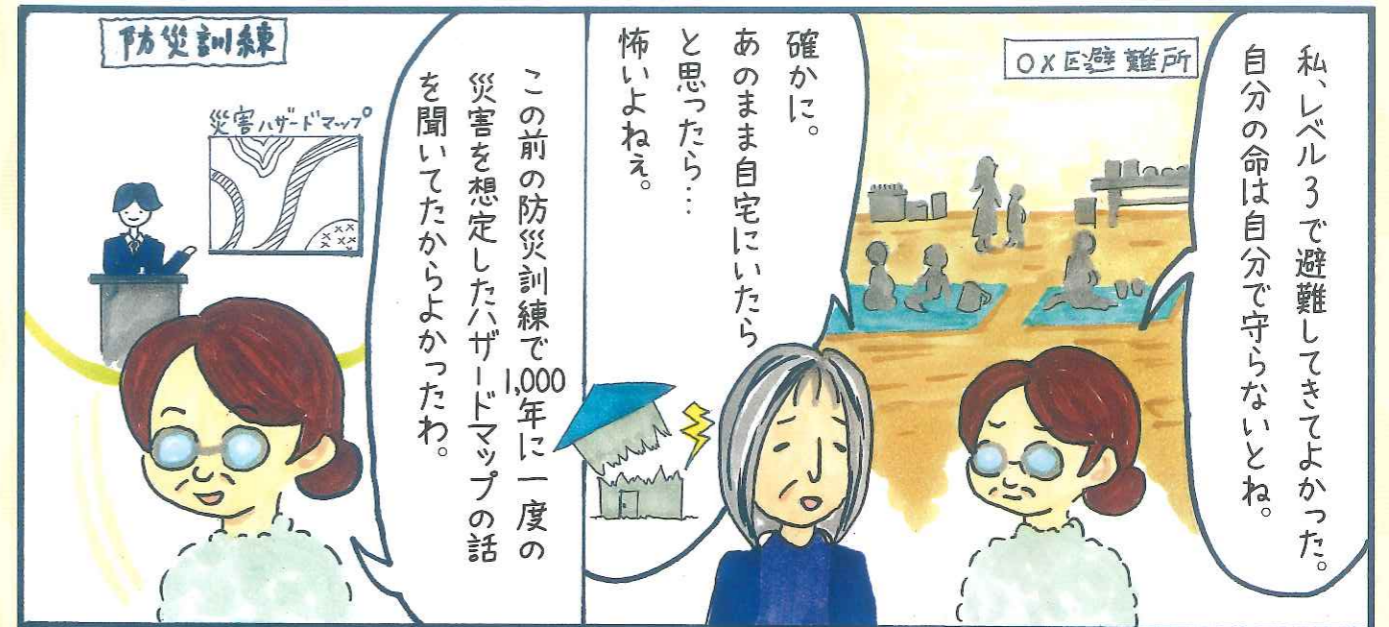
### 性暴力・犯罪被害者相談

- ◆性暴力被害者支援センター・ふくおか・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-409-8100  
(24時間365日 年中無休)
- ◆福岡県警察 犯罪被害者相談電話・・・・・・・・・・・・ ☎ 092-632-7830  
「心のリリーフ・ライン」(犯罪被害にあわれた方々の心のケア)  
(月～金/9:00～17:45 ※祝日、年末年始を除く)



1 ある避難所の風景より

日頃から避難訓練をしても、いざ災害が起ると、なかなか思い通りにはいきません。災害の発生から1週間が経つ避難所の様子を見てみましょう。



2 避難所生活に対する率直な声

避難者からこんな声が聞こえてきました。もし、あなたが自主防災組織の運営本部の一員として避難所を運営することになったら、この状況にどう対応しますか？

仮設トイレが男女別になっていない。体育館（居室）からトイレは離れていて、照明もなく夜は真っ暗。和式トイレばかりで、子どもや高齢者には使いづらい…

男女別の更衣室も授乳室もない。安心して、着替えも授乳もできない…

物資担当が男性なので、下着や生理用品などが受け取りづらい…

プライバシーを守れる「間仕切り」がない。夜は、安心して眠れない…

震災前からDV被害にあってきた女性が、震災のときに夫とは違う避難所に逃げた。しかし、夫が探しに来て、見つかった…

次は、避難所生活で助け合い支え合うために必要なポイントを見ていきましょう



## 避難所で配慮が必要な人

**妊産婦**  
一般の人と同じような行動ができず、流産・早産や膀胱炎等のリスクや個人差があり、体調に応じた配慮が必要となります。いつでも休養できる女性専用のスペースがあると安心です。

**乳幼児とその家族**  
授乳、おむつ替えの場所、ミルクを作って飲ませられる環境が必要となります。また、泣き声等で周囲に気がついたり、子どもを一人しておけないので、配給の列に並びにくい等、ストレスを抱えがちになります。

**要介護の高齢者・認知症の人**  
排せつや入浴等がうまくいかず、状態が悪化する恐れがあります。認知症の人は、不安や要望を伝えられなかったり、感情の起伏や徘徊の症状等があるため、家族等は周囲へ気をつかい、ストレスを抱えがちになります。

**障がい者とケア者**  
障がいの種類によっては、避難所で困難な状況に直面しやすいため、その人の事情が分かっている人と共に過ごせるような配慮が必要です。

**LGBT等の人**  
性別に関係なく使えるトイレや更衣室を設置する等の配慮が必要です。

**DV被害者の人**  
情報を公開したくない避難者の個人情報管理を徹底する等、慎重な対応が必要です。

**外国語を母国語とする人**  
言語や生活の習慣が異なることで、避難生活に困難を抱えやすくなるため、やさしい日本語または多言語で案内する必要があります。

詳しくは「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン（内閣府）」をご覧ください。



**Point**  
明るい照明  
防犯ブザーの取り付け  
生理用品や尿取りパッドの常備

**Point**  
明るい照明  
防犯ブザーの取り付け  
尿取りパッドの常備

**レイアウト例**

**Point**  
全体が見渡せて、目立つところに設置  
巡回は、男女混合で行う

**Point**  
誰もが乳幼児のミルクを作れる  
おむつ替えができる

**Point**  
誰でも(介助が必要な方やトランスジェンダーの人等)利用できる

**Point**  
男女更衣室は離れたところに設置  
防犯ブザーや笛を設置  
女性専用相談室としても利用

**Point**  
男女別に設置  
周りからの視線が気にならないように目隠しの設置が必要

避難所運営に正解はありませんが、様々な配慮が必要ですね。



**男性と女性で災害から受ける影響に違いがあることを知っていますか？**

避難所を経験した女性から、避難所運営における課題として、次のような声をあげられることが少なくありません。

・ 間仕切りのないところでの着替えや授乳、下着を干せない…

・ 炊き出しの担当が女性（性別役割分担）

・ プライバシーが確保されていない等

このように女性への配慮が足りない避難所運営になってしまいう要因の一つに、防災対策や災害復興に関わる担当者や特に意思決定の場に女性が少ないため、避難所の運営に女性の声が届かないという現実があります。地域防災に女性をもっと関わることで、さらに過ごしやすい避難所になるのではないのでしょうか。



2021年度、那珂川市で防災におけるジェンダー平等をテーマにした講座が開催されました。

平常時の社会の課題 ——— 災害時の女性の困難



出典：「労働力調査（基本集計）2019年度（令和元年度）」総務省



**なぜ、災害時には女性の困難・負担が増大するのでしょうか？**

その理由は、災害時は、被災によるストレス、避難所という密集した状態、また外部の目が届きにくい、声を上げにくい等の特殊な環境条件が重なることで、平常時のジェンダー平等における課題が顕在化します。災害時に女性が抱える困難(図の右側)は、すべて、平常時の社会の課題(図の左側)が背景にあります。

平常時にできないことは、災害時にはなおさらできません。まずは、ジェンダー平等の意識をもつことが必要ですね。



第1回 **あいなか講座**  
※あいなかは那珂川市男女共同参画推進センターの名称です  
 2021年12月2日(土)開催

「防災・減災と女性」くなぜ地域防災に男女が共に取り組むことが重要なのかをテーマに、3名の防災士の方を講師としてお招きし、日頃から防災対策や災害復興に関わる意思決定の場に女性が参画する必要性についてお話いただきました。また、本市の安全安心課による防災士養成講座開催の案内もあり、受講者の方が防災士を目指すきっかけにもなりました。

講座の風景



講師の女性防災士  
 (右から)  
 八代由美さん  
 黒田里美さん  
 寺崎知子さん



那珂川周辺のまちなか様子



那珂川町役場駐車場

2009年(平成21年) 那珂川町(当時)災害の記録

女性防災士にインタビュー



「防災士って何？」

防災士は、自助、互助、共助を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのために十分な意識と一定量の知識を取得した人。日本防災士機構が主催する試験に合格して「防災士」となります。救急救命講座の受講も必須です。

「なぜ防災士になろうと思いましたか？」

東日本大震災をきっかけに、防災について自分に何ができるのかを考えた時に、自分の周りの人たちが、家族や地域の人たちをどうしたら守れるのかと思ひ、防災士の資格を取ろうと思いました。

「なぜ女性の防災士が必要だと思いますか？」

子育てに関わる機会の少ない人たちが女性の目線で、サポートすることができると、また意思決定の場で、防災士としての意見を発言しやすくなると思います。どんな人も、災害時には、大変な思いをするため、いろいろサポートできることがあり、女性の防災士はやはり必要だと思います。

たくさんの女性防災士がいると安心ね。

# あなたの防災リュック これだけは入れたいものは何？

防災リュックの中身は人それぞれです。あなたは、何を持ち出しますか？  
防災リュックはどこに置いておきますか？



**持病の薬とお薬手帳。あと、マスク、消毒液、体温計など。**  
(50代男性)

**お菓子、好きなキャラクターの絵がついた筆記用具、手ぬぐい。手ぬぐいはタオルより小さくたためるし、すぐ乾くので便利です。**  
(20代女性)

**スマホと充電器。ひまつぶしになる本や普段読んでいる本。**  
(10代男性)

**ぬいぐるみ。いつも一緒に寝ています。**  
(小2女子)

**普段使っている枕。眠気を誘う本も！避難所での安眠は大事だな！**  
(70代男性)

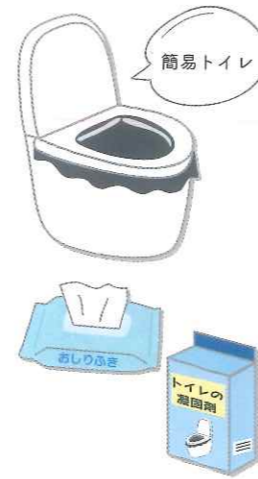
**ノートとペン。筆談用として。100均のホワイトボードでも可。**  
(60代女性)

**家族の動画と写真のデータ。バックアップは定期的に行っています。**  
(40代女性)

**子どもや赤ちゃんが、日頃食べているお菓子や遊んでいるおもちゃ。**  
(30代女性)



運べる重さかな？  
避難所までの危険な場所は把握できてるかしら？



水はリスク軽減のため、キッチン以外（玄関や洗面所等）の複数の場所に置いていきます。



電気やガスが止まっても3日間は過ごせる食料と水の準備、そしてトイレの水が流せなくても生活できる簡易トイレも準備しました。非常食や簡易トイレを実際に使用し、味や使い方をチェック。防災用の非常食はちよつとお値段が高めなので、食べ慣れているレトルト食品やお菓子をストックし、使った分だけ補充するいわゆるローリングストックを行っています。

## みなさんの取り組み ①

## みなさんの取り組み ②

定期的な見直しとして、季節ごとに着替えを入れ替えたり、ラジオの電池切れや食料の賞味期限切れ等も確認する必要がありますね。



防災リュックは、一人二つずつ、それぞれ何が必要かを考えて普段から用意しています。必要なものとしては、まずは食料と飲料水。好きな風味のものにすれば、心も落ち着き、食欲がなくても口にできます。その他、着替えや歯磨きセット、スマホ充電用モバイル、災害情報の収集用の携帯ラジオ、持病がある場合は薬等。

防災リュックをすぐ持ち出せるよう、玄関の一角に置いてあります



## みなさんの取り組み ③



寝室の枕元に靴とめがねを設置。地震でガラスが割れたりした場合、足元を守るために

不要なものの処分やタンス・棚の配置換えをし、ケガをしにくい部屋にしたり、家の中の避難場所（一番安全な場所）を決め、子どもに伝えていきます。地震は突然やってくるため、親がいつも子どものそばにいられるとは限りません。一人ひとり違う場所にいる場合なども想定し、日ごろから、緊急時の集合場所や連絡方法等について家族で確認しています。



那珂川市婦人会の活動  
安全安心まちづくりの一環として実施している地域の防災活動での「どこでも起きる災害」私の防災大丈夫一等の講演会を通して、学習しています。また、毎年災害時を想定した炊き出し訓練、非常食作りにも取り組んでいます。

日本赤十字社福岡県支部から寄付された大鍋で避難所体験として、豚汁とかしわおにぎり子どもたちと一緒に作り食べました。子どもも大人も貴重な体験となりました。

## 「自助・互助・共助」

災害時には、この3つが大切になります。日ごろからご近所さん等、地域の方との関係づくりが大切になります。



# 2021年度 男女共同参画優秀作品

「男女がともに 自分らしく輝いていきるまち なかがわ」を実現するために男女共同参画をテーマとした作品を募集しました。2021年度は、ポスター、標語、作文等の作品398点のご応募をいただき、厳正な審査の結果、次の5点が優秀作品として選ばれました。

## ポスター部門



「わたしはわたし、ぼくはぼく」  
やまぐち ひなみ  
片縄小 1年 山口 日菜実



「何かおかしい?」  
つひ りおな  
那珂川北中 2年 筒井 理央奈

## 標語部門

性別を言い訳に させない しない社会に

一般 福原 孝子

差別なく 男女平等 よいまちへ

安徳小 6年 高見 朝斗

## その他部門



「私はわたし、生まれや性別は関係ないよ」  
すずかわ ようこ  
ネット21 鈴川 陽子

## 男女共同参画センターの紹介

### 福岡県男女共同参画センター「あすばる」

〒816-0804 春日市原町 3-1-7 クローバープラザ内  
☎092-584-3739 FAX:092-584-1262

男女共同参画に関する学習・情報収集の場として、どなたでも自由にご利用ください♪

### 那珂川市男女共同参画推進センター「あいなか」

〒811-1292 那珂川市西隈1-1-1(勤労青少年ホーム1階)  
☎092-953-2211(代表) FAX:092-953-0688

#### 開館時間

【月～土曜日】9時～22時  
【日・祝日】9時～17時  
【休館日】12月29日～1月3日



本冊子の編集にご協力いただきました



#### 江崎 俊子さん

2020年度那珂川市第1回男女共同参画講座講師、防災士、gefca:ジェンダー平等福岡市民の会

本冊子のまんがを描いていただきました



#### 有馬 みなみさん

那珂川市女性人材リスト登録者もと元気塾生、「という」スタッフ  
■訪問美容りぼん  
美容院へ行くことが困難な方のもとへ向かい美容施術を行っています。  
イラスト(P.1-2)は趣味です。

「パートナー21」の作成にあたり、様々なご助言、ご協力をいただき、ありがとうございました。

## クローッサン 地震・水害・コロナウイルス…に備える「防災BOOK」

「地震、台風、水害に備える第一歩、防災を意識した家の整え方」、「今一度確認したい、我が家の備蓄品リスト」、「いざという時のために備えたい、みんなの防災グッズを公開」、「あれば助かる、癒やされる。女性目線のお役立ちアイテム」、「子ども、猫、犬の避難、どのようにサポートするか」等、防災を極めると、普段の生活力が上がります。



## 防災・減災に関する書籍の紹介



## かんたん時短、「即食」レシピ「もしもごはん」 管理栄養士 日本災害食学会災害食専門員 今泉マユ子 著(清流出版)

日常生活の中で少し多めの食料を備蓄すること。これは災害のみならず、病気やケガ、新型コロナウイルス等で外出できない「もしも」の時に役立ちます。備蓄食料をそのままではなく、普段食べなれている味で食べることができれば心が和みます。災害時でも日常と同じ食事ができるように備蓄に適した食材を使ったレシピが紹介されています。

これらの書籍は那珂川市男女共同参画推進センター「あいなか」にあります。貸し出しもしていますよ。



## 被災ママ1089人の声に学ぶ!「子どもを守る防災手帖」 MAMA-PLUG 編・著 (KADOKAWA)

乳幼児・小学生の親として、妊産婦、女性として災害の体験に学ぶ必要な備えについて、また災害当日、長期避難生活、避難バッグ、メンタルケア等多岐にわたり紹介されています。別冊の実践ワークノートに書き込み、それぞれの家庭に適したアクティブな防災\*を目指しては…。  
\*アクティブな防災・・・負担の少ない防災、自分で考える防災、子どもと家族がハッピーになる防災のこと



## 市長より

「災害はどこでも起こりうる。そして、いつ起こるか分からない。」  
那珂川市においても、2009年(平成21年)7月に中国・九州北部豪雨による災害が発生し、被災しました。かつて経験したことのない災害が毎年起こりうるようになった状況下で、「ジェンダー平等の視点からの防災」への取り組みが重要となっています。

この取り組みにあたっては、日頃からあらゆる分野で性別に関係なく活躍できる社会であることが大前提となります。

那珂川市におけるジェンダー平等が一層推進されていくことを願って2021年度版「パートナー21(第15号)」を発行いたします。

これからも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



那珂川市長 武末 茂喜